

札幌の歴史と山鼻村

資料一典出排資市道

榎本洋介 ①

1, 本府建設と石狩の開拓

幕末の入植 琴似村、発寒村、星置村、篠路村、札幌村 未開地から生活地へ ④

島義勇開拓判官による本府建設 周辺村落を開拓へ ①

明治3年の移民募集 ②

庚午移民（苗穂村、丘珠村、円山村、札幌新村） ←山形県、新潟県 ③

辛未村（4年に琴似村八軒、二十四軒、十二軒へ） ←札幌周辺で募集 ⑤

明治4年以降の移住者たち ⑥

平岸村（麻畑）、月寒村（千歳道）、白石村・上白石村・（上）手稲村 ⑦

明治8年琴似屯田兵村、明治9年発寒屯田、山鼻屯田兵村 ⑩

その後 篠路村（興産社）、当別太村（福移）、山口村など ⑪

2, 山鼻への移住

明治4年頃 伏見辺 ⑫

東本願寺移民 明治4年6月到着 寺周囲に入植？ 山鼻辺？ ②③④

明治7年山鼻村命名 ⑤⑥

3, 石切山道から石山道

明治2年頃 ハツタリベツ道 ⑦

明治3年東本願寺の道路開削 山鼻村八垂別間、札幌西長流間（本願寺街道） ②

明治5年頃から石材の発見 開拓使本庁の建築材用

円山の石材、八垂別の硬石、穴の沢の軟石 石切山道 ⑧

石材の運搬路の開削造成 ⑨⑩⑪

9年に石山道 渡島通山鼻村硬石山、山鼻村真駒内間、真駒内穴ノ沢間

4, 山鼻村の札幌区編入と住宅地化

明治37年9月屯田兵制廃止（兵役解除は日露戦争終了後） 離農

明治42年石山馬鉄の運行開始 ⑫⑬

明治43年山鼻村の札幌区編入

大正・昭和初期から札幌の人口増による住宅地化の進行 ⑭

石山通を中心に高層化

配布資料出典一覧

林鼻山と史蹟の跡跡

- ① 『石狩大府図』北海道大学附属図書館図類1508
- ② 『札幌郡西部図』北海道大学附属図書館図類1480
- ③ 『札幌郡各村地図』北海道大学附属図書館図類206
- ④ 「山鼻村移民開拓ノ顛末」北海道大学附属図書館『移民履歴調』別 325-Im (『新札幌市史』第7巻244頁より)、へ
- ⑤ 『開拓使公文録』(道立文書館6010、『新札幌市史』第7巻223頁より)、開拓使『開拓使布令録 明治7年』(『新札幌市史』第7巻223頁より)
- ⑥ 『新札幌市史』第8巻Ⅰ統計編より作成
- ⑦ 『旧札幌図』北海道大学附属図書館軸物150
- ⑧ 『北海道札幌之図』北海道大学附属図書館図類893
- ⑨ 『略輯旧開拓使会計書類』北海道立文書館6407-58
- ⑩ 「道路工事表山鼻村関係」『開拓使事業報告』第二編土木部堤防表・利水表・道路表事業表より山鼻関係道路分抽出作成
- ⑪ 『札幌郡円山豊平山鼻三ヶ村之図』札幌市立公文書館地図99の一部
- ⑫ 「馬鉄路線図」『札幌市交通事業30年史』昭和32年刊
- ⑬ 『札幌近郊』札幌市立公文書館地図120の一部
- ⑭ 『札幌都市計画図』札幌市立公文書館地図1450の一部

山鼻の山鼻

- ①
- ② (山鼻寺鐘本) 間高長西跡跡
- ③
- ④⑤⑥

山鼻の山鼻

- ⑦
- ⑧
- ⑨

上川郡

空知郡

東

石狩大府

二道川

大橋

大町

大町

御宮

玉野

大河
石狩

海

海

海

釧路

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

石狩川

2



3



④

明治7年山鼻村命名

庁下より東方月寒村迄新道筋左右耕地払下ケ追々人家取建候ニ付豊平村と名付ケ南方ハツタリヘツ迄石切山道筋左右も同様ニ付山鼻村と名付ケ又白石村分轄札幌川端江式拾六戸移住致シ候ニ付上白石村と名付申度此段奉伺候也 (『開拓使公文録』道文6010)

(明治七年) 第三号九月二十三日

府県

当使管下石狩国札幌郡并後志国小樽郡ノ内別記ノ通新村相設候条此旨布達候事

別記

石狩国札幌郡ノ内

豊平村

右ハ豊平橋以東月寒村界マテ本道左右へ移住ノ分

上白石村

右ハ豊平橋以北河流ノ東岸ニ沿へ移住ノ分

山鼻村

右ハ石切道左右へ移住ノ分

後志国小樽郡ノ内

奥沢村

右ハ芝居町界ヨリ山際へ移住ノ分

(『開拓使布令録』明治7年)

⑤

山鼻村移民開拓ノ顛末

山鼻村ハ明治七年寄留ノ農民五六名ニテ開拓セシカ同八年農五名自移ス同九年ニ至リ屯田兵二百三十一名ヲ募リ同年五月男女千百九名ヲ此地ニ移シ一戸三千坪ノ耕地ヲ給ス初年ハ開墾ノ時期ヲ失シ多分ノ種子ヲ播スルニ不至同十年四月西国騒乱出征ノ命アツテ出兵シ戸主不在ト雖トモ其家族ノ開墾シテ成功スル者三十一万五百坪余ニ至ル旧村農モ漸々十七名自移シ墾成地十六万四千坪余ニ至ル

地形地質

該村ハ西ニ高山連亘シ東南ハ豊平川ヲ帯ヒ北ハ札幌町円山村ニ隣リ本庁ヲ距ルコト十町余地質西山ノ麗ハ沃饒ナルモ中央屯田兵耕地ハ礫确ニシテ遙カニ札幌町篠路村等ヨリ劣レリ

水陸運輸ノ便否

該村ハ札幌市街ノ南端ヲ距ル僅カニ四町ニ過ス北錢函ノ大道ニ通ス道路ハ平坦ニシテ車馬ノ勞ナク冬天ハ橇ヲ用フルヲ以テ大ニ運搬ノ勞ヲ省ケリ川ハ「ハツタリベツ」川有リ極テ小流ニシテ運輸ノ便ニ供スルニ足ラスト雖トモ亦往々用水ニ充ルニ足ル

村民将来着産ノ目途

屯田兵ハ農業ヲ以テ専務トスルハ勿論ナレトモ傍ラ養蚕并ニ製麻等ノ業ヲ勧誘シテ将来着産ノ道ヲ得セシメントス

山鼻村副戸長大堀忠八

(『移民履歴調』北大図)

札幌各村の人口

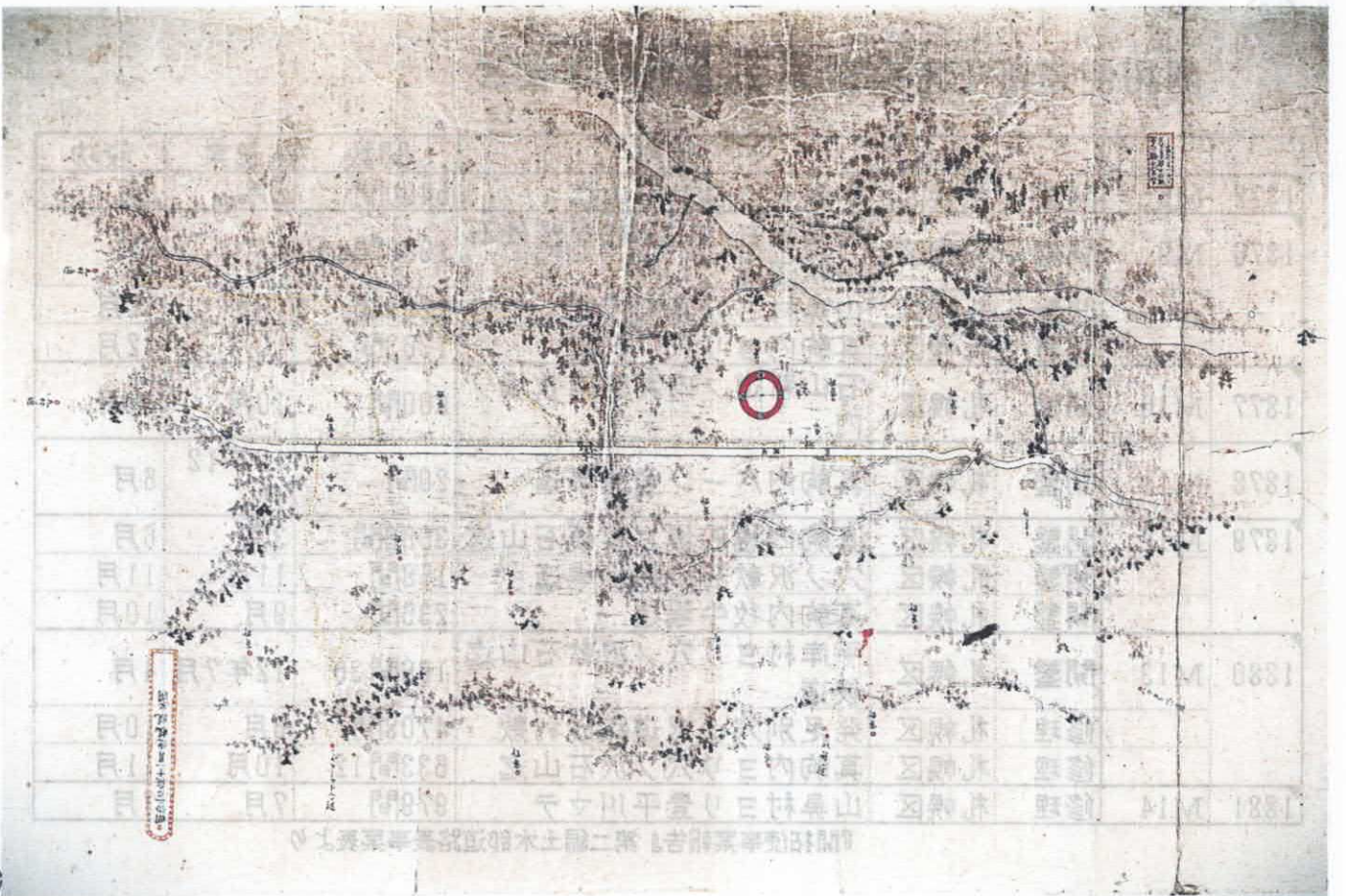
(本籍人口+入寄留人口-出寄留人口=現住人口)

	明治3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	20	30		40
円山	本籍 90	141	156	162	169	183	190	193	224	240	235	254	250	293	688	明治39	5,072
	現住				213						298		307	530	675		6,928
山鼻	本籍					11	26	32	1,233	1,194	1,220		1,302	1,471	2,159	年篠岩	↑
	現住										1,269		1,382	1,634	2,271		↑
上白石	本籍				83				111	115	135		137	288	726	明治35	↑
	現住				83						126		137	439	832		↑
白石	本籍		358	370	291	389	397	404	324	343	431		404	389	603	3,912	4,614
	現住				291						404		469	2,167	4,348	年白石	5,246
発寒	本籍			79	113						253		231	242	293	明治39	↑
	現住										253		239	212	256		↑
琴似	本籍		182	198	218	225	228	236	1,208	1,252	1,307		1,364	2,272	3,703	琴似	7,128
	現住				202						1,296		1,426	2,111	3,745		6,599
苗穂	本籍	120	143	153	161	173	195	198	204	196	325	251	277	602	1,294		↑
	現住					184					254		496	681	1,621		↑
丘珠	本籍	88	106	109	121	127	131	135	133	136	145		163	284	1,024		↑
	現住		106			123					177		214	282	1,253	明治35	↑
雁来	本籍				70				80	100	134		184	276	407	年札幌	↑
	現住					72				104	116		266	277	461		↑
札幌	本籍	184	193	200	211	227	295	311	307	327	310	300	342	574	1,554		4,577
	現住					275				336	421		445	649	1,827	明治39	4,450
篠路	本籍	101	101	152	181	196	205	205	214	214	253	257	442	722	4,268	年篠路	3,290
	現住					210				199	267		491	640	4,843		2,966
月寒	本籍		185	195	210	215	218	232	233	249	268	500	730	901	2,393		↑
	現住					220				249	311		865	2,066	2,717	明治35	↑
平岸	本籍		203	214	210	229	231	235	233	232	383	229	234	512	1,247	年豊平	↑
	現住					269				230	328		368	1,267	1,429		↑
豊平	本籍				13	29	39	45	45	51	140		147	622	1,422		8,726
	現住										98		324	1,364	1,867	明治35	10,397
上手稲	本籍		241	258	238	266	276	272	263	272	277	294	288	618	853		4,190
	現住				236			268	268	278	278		304	577	949	明治35	3,893
下手稲	本籍			95	98	102	105	107	114	133	143	217	332	460	1,148	年手稲	↑
	現住			107	125						196		439	462	1,465		↑
山口	本籍													548	636		↑
	現住													523	653		↑
合計	本籍													11,288	27,727		37,597
	現住													15,881	31,212		40,479
札幌区	本籍	13	637	1,553	1,949	2,027	2,126	2,238	2,393	2,678	3,383	3,823	4,270	7,813	21,166	M32	37,286
	現住												9,001	13,534	35,306		66,193

新札幌市史第8巻I統計編(札幌区明治15年現住は『札幌区史』より)
 明治12、13年郡区町村編制法施行、札幌区に明治32年北海道区制施行、各村に明治35、39年北海道二級町村制施行、40年豊平に北海道一級町村制施行



8



7

⑨

明治9年5月31日付西邨中判官安田少判官小牧幹事宛松本大判官公文書
 斤下渡島通より左折山鼻村へ此度屯田兵員移殖相成是迄之石山新道筋は兵員家作
 地并開墾地ニ割渡廢道ニ相成候ニ付更ニ一條之道路開作無之テハ石山街道住居人
 民之迷惑眼前ニ付別帋図面仕様書并入費積書之金高ヲ目的トシ昨八年七月御回金
 濟道路橋梁入費金七万貳千九百円余之内より支出之積ヲ以着手為致候条長官殿へ
 可然御開申有之度此段申入候也 (『略輯旧開拓使會計書類』道文6407-58)

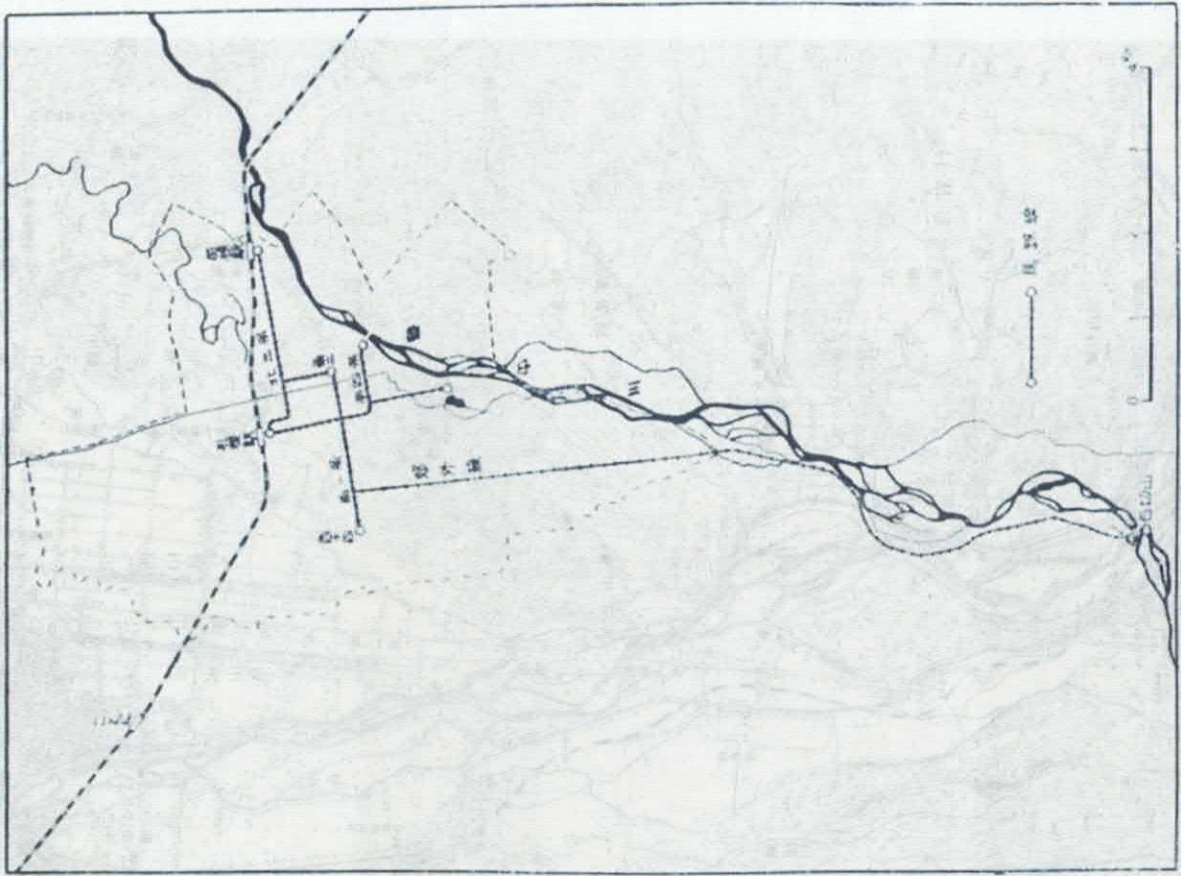
⑩

開拓使道路土木事業石山通関係事業表

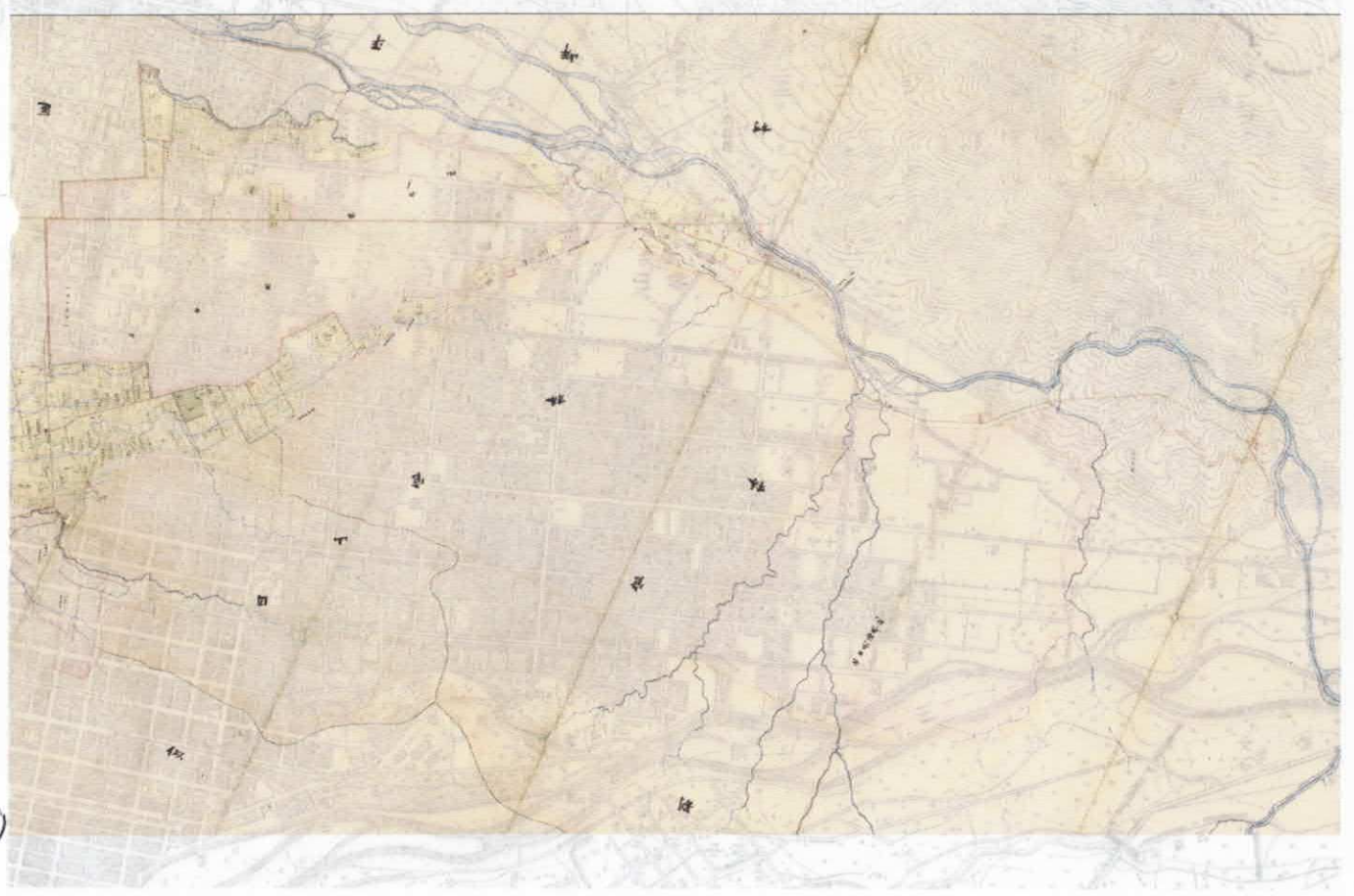
			郡区	場所	間数	起業	竣功
1872	M5	開墾	札幌区	本願寺脇ヨリ石山迄	5400間	8月	9月
1876	M9	開墾	札幌区	渡島通ヨリ山鼻村ヲ經硬石 山新道迄	1988間48	6月	7月
		開墾	札幌区	山鼻村ヨリ真駒内迄	1293間	10月	12月
		開墾	札幌区	真駒内ヨリ穴ノ沢迄	1363間	10月	12月
1877	M10	開墾	札幌区	石山新道ノ内真駒内牧場ノ 内	600間	10月	12月
1878	M11	開墾	札幌区	真駒内バーン登馬車道	20間	10年12 月	6月
1879	M12	開墾	札幌区	真駒内渡船場ヨリ硬石山迄	3060間	3月	6月
		開墾	札幌区	穴ノ沢軟石山敷出場道	158間	11月	11月
		開墾	札幌区	真駒内牧牛場道	235間	9月	10月
1880	M13	開墾	札幌区	平岸村ヨリ穴ノ沢軟石山迄 坂道	166間30	12年7月	4月
		修理	札幌区	発足別穴ノ沢道路砂利敷	4708間	6月	10月
		修理	札幌区	真駒内ヨリ穴ノ沢石山迄	633間12	10月	11月
1881	M14	修理	札幌区	山鼻村ヨリ豊平川マテ	979間	7月	7月

『開拓使事業報告』第二編土木部道路表事業表より

馬 鉄 路 線

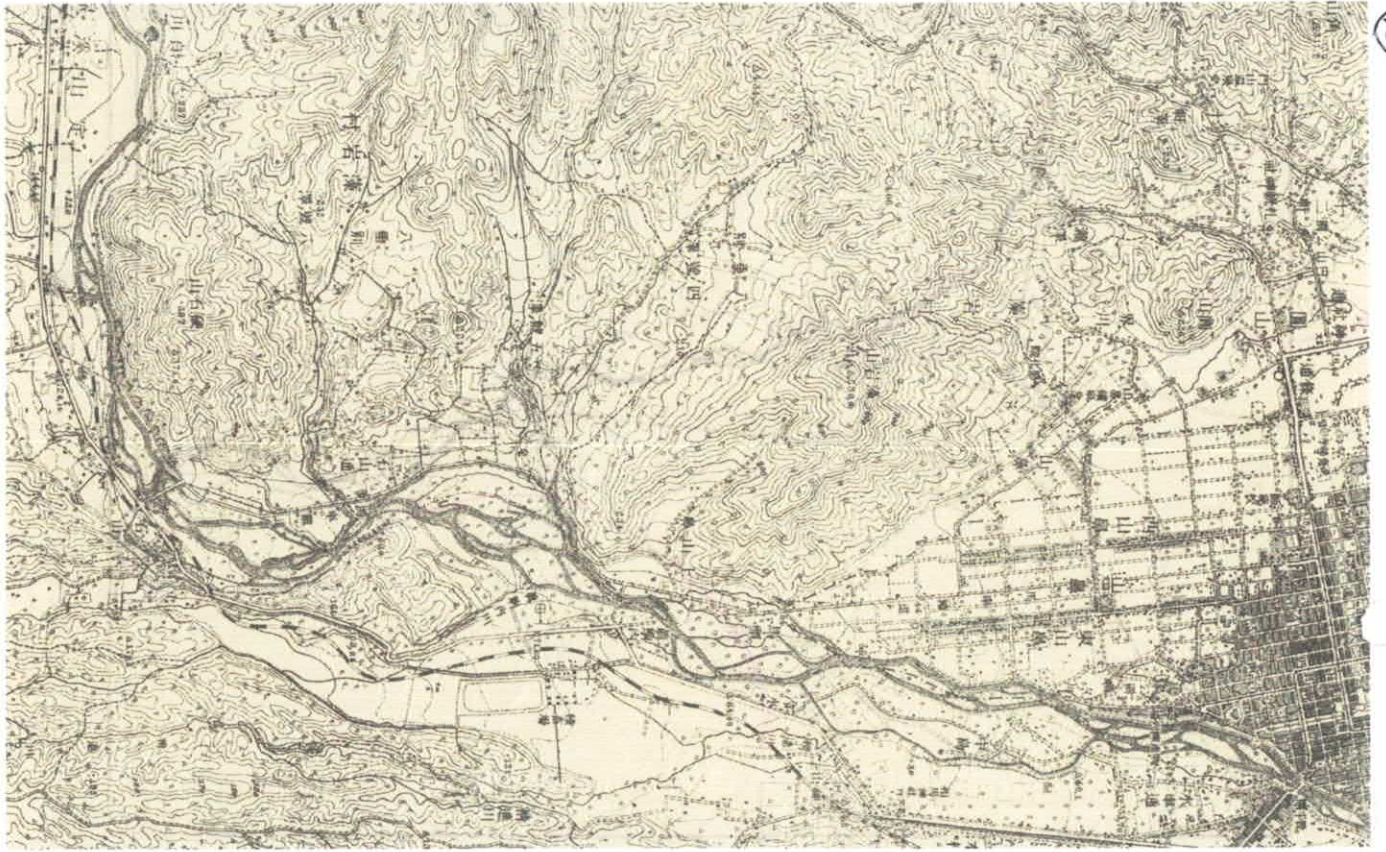


12

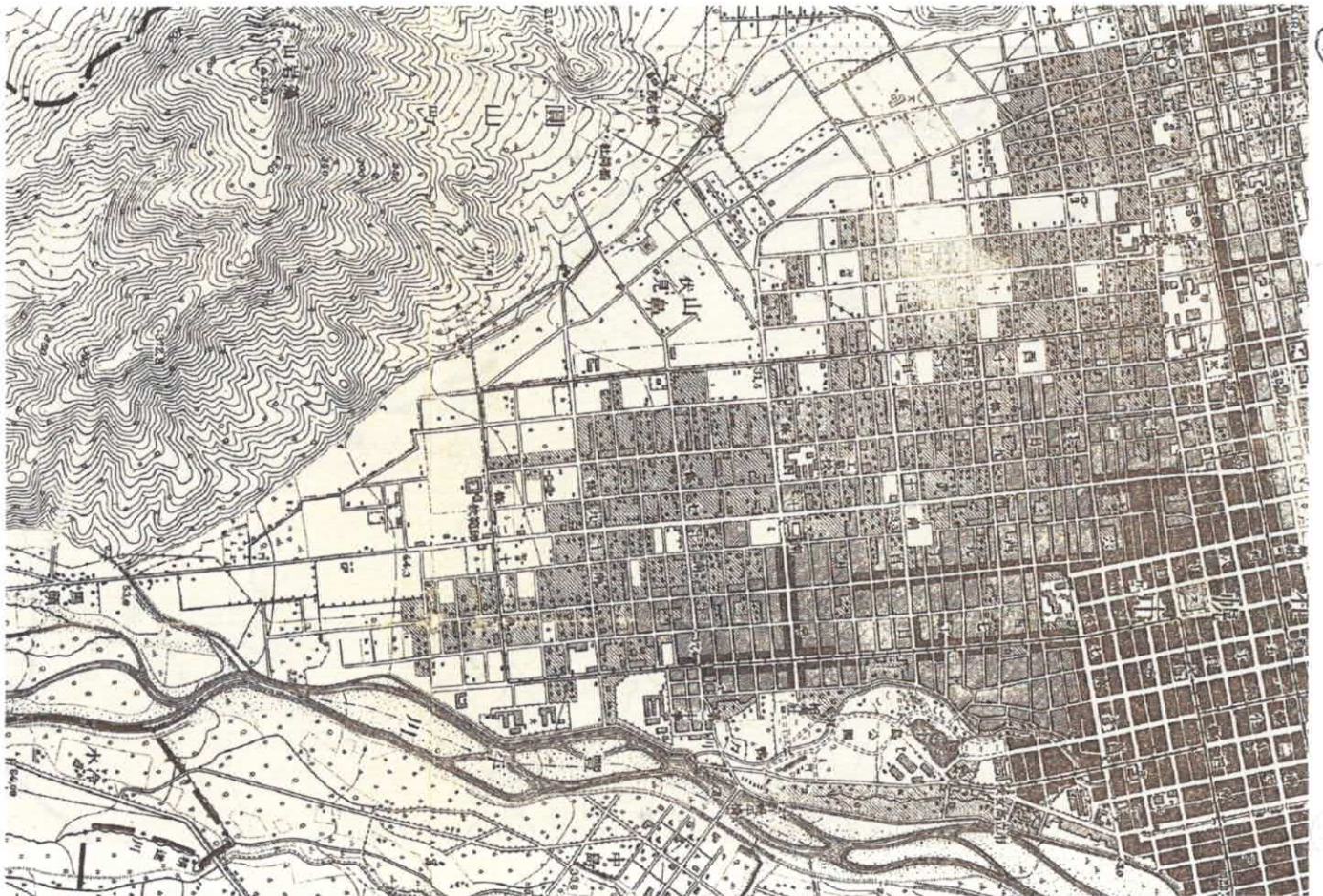


11

11



13



14